

年 度 評 価 シ ー ト

課名 高齢者福祉課

施設の名称 静岡市小鹿老人福祉センター	指定管理者名 公益財団法人静岡市文化振興財団										
1 履行状況											
(1) 目標達成 利用者満足度 目標値88%、実績値96.5%（前年度99.2%）、達成率110%（前年度比97.3%）											
(2) 施設利用状況 利用者数											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">施設名</th> <th style="width: 15%;">令和5年度</th> <th style="width: 15%;">令和4年度</th> <th style="width: 15%;">令和3年度</th> <th style="width: 15%;">令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小鹿老人福祉センター</td> <td>33,189人</td> <td>30,580人</td> <td>24,351人</td> <td>14,752人</td> </tr> </tbody> </table>		施設名	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	小鹿老人福祉センター	33,189人	30,580人	24,351人	14,752人
施設名	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度							
小鹿老人福祉センター	33,189人	30,580人	24,351人	14,752人							
【参考】平成30年度（新型コロナ前）利用者数70,497人 長引くコロナ禍において、高齢者の行動に制限が掛けられたことにより利用者数が激減した。利用者の興味を引くように広報を工夫し、徐々に回復傾向にある。											
(3) 人員配置状況 仕様書に基づき適切な人員配置がなされている。											
(4) 業務実施状況 業務仕様書及び事業計画書に従って実施された。主な事業と参加者数は以下のとおり。											
ア 生活相談・健康相談 駿河区の地域包括支援センターと共催で「健康生活介護相談」を24回開催し、47人が利用した。相談内容は体の不調から年金まで多岐に渡り、必要に応じて相談後も地域包括支援センターがフォローを続けている。											
イ 教養講座等 コロナ禍を機に需要の高まっていた楽器講座として「はじめてのウクレレ」を実施し、定員を超える申し込みがあった。 また、年齢とともに心身の活力が低下し、要介護状態となる「フレイル」のリスクを減らすため、「しぞ〜かでんでん体操」を実施した。 その他、需要の高い「すこやか体操」の回数を増やし、過去に実績のないジャンルで「はじめてのスタンドグラス」「ペーパークラフト」を実施し、「はじめてのワード」「はじめての英会話」なども合わせて25事業202回を開催した。											
ウ 交流事業 コロナ禍以降初めての本格開催として「来・て・こ祭」を開催し、複合施設3センターの利用団体等による日々の活動成果発表の場となった。ステージ部門では11団体が発表し、小鹿商店会や豊田児童館の協力もあり出店・体験ブースが展開され、来場者数1,273人と大変賑わった。											

【検証・分析等】

教養講座等の開催数は仕様書を上回っており、特に健康増進や介護予防に力を入れている点が評価できる。

【確認結果】

○：協定書等の内容が適正に履行されている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応等）

全ての実施事業で受講者アンケートを実施しており、人気のある講座の実施回数を増やして利用者のニーズに応えている。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

年間を通じて来館者を対象にアンケート調査を実施した。

【調査結果】

有効回答数：259件、「満足」「やや満足」の回答数：250件

利用満足度：96.5%（前年度99.2%）

【検証・分析等】

利用満足度は高い水準を維持しており、利用者から好評を受けている。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 市民アンケート

年間を通じて、生涯学習センター（同じ建物内の駿河を除く 10 館）の利用者を対象とした認知度調査を実施した。

有効回答数 1,409 件、当該施設を知っているという回答数：942 件（66.9%）

【検証・分析等】

市内全域を対象として、3分の2にあたる多くの方に認知されていることが分かるが、まだ改善の余地はあるため、引き続き周知活動を行う必要がある。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(3) その他の調査

【確認結果】

－：未実施

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

光熱費の高騰は精算により対応し、人件費や物価高についても指定管理者の努力により運営されている。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

指定管理業務全般について、業務仕様書や事業計画書に従い良好に実施されている。

事業全般については、地域包括支援センターと連携した相談業務、介護予防のための「しぞ〜かでん伝体操」など利用者のニーズを把握しながら進めている。

目標値となる利用者満足度は高水準を維持しており、適切な施設運営が出来ていると評価できる。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。